



4 2023

発行所 大阪市中央区玉造2-24-22 カトリック大阪大司教区 広報委員会 郵便番号 540-0004 TEL (06) 6941-9700(代表) TEL (06) 6946-3223(直通) FAX (06) 6946-3224(直通) E-mail: jho@osaka.catholic.jp 編集 広報委員会 発行人 前田万葉

本紙「点訳版」「音訳」があります。〈無料〉 ※ご希望の場合は「点訳版(点字本)」下記まで申込み 時間 ☎06-6946-3223(直通) ☎06-6946-3224(直通) 「音訳(テープ・デジ)」 山口さん ☎0798-34-4228

☆ 司祭叙階ダイヤモンド・金祝 (2画) ☆ キリスト教一致祈禱週間 ☆ ラジオ「信仰の時間」松浦謙神父 (4画) ☆ 春の司祭司牧者人事異動第1次 (3画) ☆ イエスにならう生き方を求めて (5画) ☆ 青年のための錬成会 (4画) ☆ 生きる―難民移住者 (6画) ☆ 墓地・納骨所名称変更 (4画) ☆ ラジオ「信仰の時間」松浦謙神父 (5画) ☆ イエスにならう生き方を求めて (6画) ☆ 生きる―難民移住者 (7画) 大阪カトリックのホームページ=jho@osaka.catholic.jp

『時報』原稿・資料等の締切は前々月末です。

福者ユスト高山右近殉教者列聖祈願のつどい・ミサ

いま、右近の続きを 生きるために

2023年2月4日大阪カテドラル聖マリア大聖堂で「福者ユスト高山右近殉教者列聖祈願のつどい・ミサ」が開催された。つどいには豊能町・高山右近顕彰会から5人の来賓を迎え、ミサには約150人が参加し祈りをささげた。

第一部 列聖祈願のつどい

つどいは前田万葉大司教の開会の辞で始まり、第一部、平林冬樹神父の講演は、「奮い立て、右近のように」と題して話しを伺った。列聖運動は、1、右近の素晴らしい徳を顕彰する。2、殉教をたたえる。3、確かな取り次ぎの祈り、という3つの条件が必要と説かれた。



列聖運動に必要な条件とは。講師の平林冬樹神父(イエズス会) 日本カトリック司教協議会 列聖推進委員会秘書

続けて平林神父は阪神・淡路大震災を体験した大阪教区の「新生計画」は、右近が、その時代に大阪教区の地域で取り組んだ内容がルーツとなっており、右近の中にたぎる熱い血は脈々と、今受け継がれ流れている。「神はあらゆる苦難に際して私たちに慰めてくださいます。奮い立って、この困難を克服しましょう」と話された。(文 右近とともに歩む会)

第二部 列聖祈願ミサ

列聖祈願ミサは、前田万葉大司教主司式によって捧げられた。説教は、『致命祭 右近の続き 生きるため』と俳句で始まり「へり



祭壇に向かって酒井補佐司教(左側)・前田大司教(中央)・平林神父(右側)

「わたしは、昨年8月末にローマ教皇庁の列聖省に右近列聖のお願いに参りました。列聖省長官であられるマルチェロ・セメラーロ枢機卿さまは、直々に応対してください、2025年は25年に1回の聖年であり、テーマを希望の巡礼と銘打ち、何人かの列聖をローマで行うことになっている。福者ユスト高山右近

しによる奇跡を祈って欲しいという事です」と語り、右近のとりなしを祈るよう呼びかけた。私たちがこの呼びかけに、また小教区で右近のとりなしによる奇跡を願います。

(文 列聖推進委員会 委員長 春名昌哉)

大阪教区のカトリック病院 ガラシア病院

特徴的な医療 ホスピス(緩和ケア) リハビリ・神経内科 肝臓内科・循環器内科

医療法人ガラシア会 理事長 前田万葉 大司教 チャプレン 松本信愛 神父

〒562-8567 箕面市粟生間谷西 6-14-1 ☎072-729-2345



有償ボランティア 事務局員募集

詳しくは ホームページ をご覧ください。

https://yurikago.site



理事長 人見 滋樹 (元カトリック医師会会長)

認定NPO法人 こうのつりのゆりかご in 関西

ハラスメント相談窓口

※委員会はハラスメント全般を視野に入れることになりました。そのため、名称変更します。

電話番号:06-6941-9718

相談窓口受付時間 月・火・金曜日(祝日を除く) 午前10時~午後4時

あなたの悩みを親身になって受け止めます。秘密は必ず守られます。

スタッフ 募集

2020年9月、尼崎市園田教会の隣に開業。信徒、修道者、司祭のケアを提供。

株式会社 ガラシア WINGS サービス付き高齢者住宅

ドムス ガラシア

「ドムス ガラシア」の看護師、介護職資格のある信徒の職員、また併設する「ガラシア園田クリニック」の医師、看護師を募集しております。ご協力をお願い申し上げます。

☎ 06-4960-8020 info@gratia-wings.jp 担当 濱口、Sr 川水

